

患者さんの対応に困った時

－看護師・心理士のためのリエゾンコンサルテーション基礎知識－

【概要】

一般病棟で患者さんの対応に困る時、看護師と心理士とのコミュニケーションにおいて、お互いの考えや意図が十分に伝えられなかったり、必要な情報が収集できなかったりという経験はありませんか？ これはどちらかの対応に問題があるといった類のものではありません。看護サイドの伝えたいことと、心理士サイドの知りたいこととが必ずしも合致しないことによって、コミュニケーションがうまくいかないということもあるのではないのでしょうか。

今回は、ある仮想症例をもとに看護師と心理士それぞれがどのような点に留意しながら情報を伝えたり収集すべきなのかについて、実際のやり取りを通してワークショップ形式で学んでいきます。後半には、それぞれの職種に必要な知識や目の付け所などについて講義を行い一定の到達点を提示する予定です。

2011年11月26日（土） 14:30-16:30

福岡国際会議場4階（第24回日本総合病院精神医学会総会：第5会場）

【プログラム】

- ① 研修会の開催目的・枠組みについての説明（10分）
担当：中村有先生（東邦大学大橋医療センター）
- ② 症例検討のワークショップ（40分）
仮想症例：『がん治療中で、死にたい気持ちを訴える患者さん』
- ③ 講義・質疑応答（アンケート含む）（70分）
 - A. 看護師向け講義 担当：小松理恵先生（仙台市民病院）
 - ✖ 精神科専門職へのコンサルテーションの枠組み
 - ✖ 精神科専門職へ依頼すべきエピソードかどうかの判断
 - ✖ 精神科専門職へ伝えるべき患者の情報
 - B. 心理士向け講義 担当：満田大先生（三井記念病院）
 - ✖ リエゾンコンサルテーション特有の二重構造の枠組み
 - ✖ 身体疾患患者の心理的見立てにおいて、除外すべきポイント
(せん妄や薬剤の影響など)

《 募 集 要 項 》

開催日時

2011年11月26日(土) 14:30-16:30

場所

福岡国際会議場 4 階 (第 24 回日本総合病院精神医学会総会：第 5 会場)

対象

一般科看護師 (実務経験 5 年以内をめやす)

心理士 (リエゾン医療の現場での経験が少ない方)

定員

看護師・心理士 各 20 名程度 (※ 心理士は定員となりました)

参加費用

本研修会の参加は無料ですが、総合病院精神医学会総会参加費 (5,000 円) が必要となります。学会参加費をお支払頂くことで、同日午前中のリエゾンコメディカル委員会主催シンポジウム『リエゾン現場でのコメディカルコミュニケーション』他、学会全プログラムに参加して頂くことが可能です。

応募方法

日本総合病院精神医学会事務局内 リエゾンコメディカル委員会教育研修会担当 小川宛 (FAX 03-5805-3720) まで、氏名・所属・経験年数・連絡先住所 (電話・FAX 含む)・電子メールアドレス明記の上、FAX にてご応募下さい。



応募者多数の場合には、先着順とさせていただきます。

総合病院精神医学会リエゾンコメディカル委員会
教育研修会オーガナイザー
満田 大 (三井記念病院)

日本総合病院精神医学会・事務局
〒113-0033 文京区本郷 2-14-4-201
TEL/FAX 03-5805-3720